

本校卒業生が高麗大学での経験を後輩に語ってくれました！

本校中学校から高校まで6年間学び高等学校を2016年度に卒業、韓国の高麗大学に入学した浦さんがこの春大学を卒業されました。本日は後輩に韓国の大学生活について話をしてくれました。

「韓国の大学に行きたいと思った理由は、高校2年生の時に韓国の高校に留学した時日本の高校生とちがって韓国の高校生はいい大学に入るため、そして自分の将来のためにとでも一生懸命勉強していました。自分は日本の大学に入ったらここまで勉強せずだらけてしまうのではないかと、自分もこの環境の中に入って勉強をしっかりやりたい、と思い韓国の大学に留学することを決めました。」

「高麗大学では、勉強が大変でした。高校時代からもっと勉強しておけばよかったと後悔しました。ひとつの授業で予習や復習、課題などやらなければならないことが多すぎるので時間が足りませんでした。」

「日本人として嫌な思いをした経験は一度もありませんでした」

「一人暮らしのための生活費をアルバイトで稼いでいました。食堂や日本語家庭教師などです。アルバイト先でいろんな人と知り合ったりできるので、いい経験になると思います」

などの経験談を後輩たちに語ってくれました。

浦さんは、これから韓国に戻り韓国で就職するために活動するそうです。最後に、後輩たちへのメッセージでは、「せっかく京都国際高校に入学したので、卒業するころには韓国語が話せるようになるようがんばって勉強してください」とエールを送ってくれました。

